

加西市財政の健全化判断比率等を公表

平成19年度決算から財政健全化にかかる各指標の公表が義務付けられました。平成20年度決算から基準を超える団体は財政健全化計画等を策定しなければなりません。これは、公営企業や第3セクターも併せた地方自治体の全体の財政状況を明らかにするもので、「早期健全化」と「財政再生」の2段階で財政悪化をチェックします。

加西市の健全化判断比率は

	加西市	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
①実質赤字比率	赤字額なし (△1.04%)	13.1%	20.0%
②連結実質赤字比率	赤字額なし (△10.38%)	18.1%	40.0%
③実質公債費比率	20.8%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	183.8%	350.0%	—

現在、加西市の健全化判断比率の四つの指標はいずれも、危険域を示す早期健全化基準を下回っています。

市の実質公債費比率は、早期健全化基準を4.2%下回っていますが、この数値は県下市町の中で5番目に高いものです。

その原因は、平成16年度以降に下水道事業のために借り入れた市債の償還が増加しているためです。この償還は平成24年度にピークを迎えます。このため、市では平成18年度に公債費負担適正化計画を策定し、新規の市債発行を抑制しながら、平成25年度には18%未満になるように計画的に公債費負担の軽減を図っています。

健全化判断比率の四つの指標

- ①実質赤字比率：地方自治体の標準的な収入に対する、一般会計等の実質赤字額の割合。
- ②連結実質赤字比率：地方自治体の標準的な収入に対する、全会計を対象とした実質赤字額合計の割合。
- ③実質公債費比率：地方自治体の標準的な収入に対する、実質的な公債費（市の借金の返済金）相当額の割合。
- ④将来負担比率：地方自治体の標準的な収入に対する、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の割合。一般会計等が背負っている借金が、一般会計等の標準的な年間収入の何年分かがわかります。

イエローカード 四つの指標で早期健全化基準を一つでも上回れば、「財政健全化計画」を策定し、自主的な改善努力による財政健全化に取り組まなければならない。自治体の自立性が制限されます。

レッドカード 将来負担比率を除く三つの指標で、財政再生基準を一つでも上回れば、「財政再生計画」を策定し国等の関与による確実な再生に取り組まなければならない。

加西市の資金不足比率は

公営企業会計ごとの資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度あるのかを示す指標です。

経営健全化基準は20%ですが、加西市の公営企業会計はいずれも、資金不足額がありません。そのため、資金不足比率は算定できず、該当数値なしを意味する「—（ダッシュ）」表示となっています。

特別会計名	平成19年度決算	事業規模(千円)	資金不足比率
水道事業特別会計	資金不足額なし	1,297,560	—
下水道事業特別会計	資金不足額なし	619,324	—
病院事業特別会計	資金不足額なし	5,185,817	—
農業共済事業特別会計	資金不足額なし	117,490	—

【問合せ】 財政課 ☎48710 ※詳しくは加西市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

住民投票条例に関する講演会を開催

住民投票とは、市政に関する重要な課題について住民の意志を直接問うための重要な制度です。

市では、住民投票条例の導入に向け、市民の皆様を交えてその必要性、どういう使い道があるのかという勉強会を行っていきたく考え、この度、下記内容にて講演会を開催いたします。市民の皆様ふるってご参加ください。

日時：11月15日（土）10:00受付 10:30開演

場所：加西市健康福祉会館 1階大会議室

演題：「市民自治と住民投票」

講師：ジャーナリスト 今井 一^{はじめ} さん

参加費：無料

【問合せ】 総務課 ☎48702 FAX481800

講師プロフィール

今井 一（ジャーナリスト）

[国民投票/住民投票]情報室

事務局長。81年以降ソ連・東

欧の現地取材を重ね、民主化の

過程で実施された各国の国民投票を現場で見届ける。また、04年、05年にはスイス、フランス、オランダで実施されたさまざまな国民投票を現地取材。主な著書に『住民投票』（岩波新書）など。サンテレビの「ニュースシグナル」のコメンテーターとして出演中。加東市出身。



男女共同参画宣言都市記念イベントを開催

加西市は、昨年11月11日、市制40周年記念式典において男女共同参画都市の市民宣言をし、宝塚市に次いで県下2番目の宣言都市となりました。今回記念事業を国（内閣府）と共催することによって、さらに市民の意識改革を進め気運を高めようとするものです。

どなたでもご参加できます。

日時：11月15日（土）13:00～16:00

場所：加西市健康福祉会館

※一時保育あり（無料：3日前までに要予約）

プログラム：

13:00 ■オープニング加西児童合唱団さるびあつ子

■式典

14:00 ■記念公演『日本人とワーク・ライフ・バランス』

講師 ナタリア・ロシナさん

15:10 ■ハープ演奏川下 笑里歌 さん



講師プロフィール

ナタリア・ロシナ（経営者）

1995年来日以来長崎、浜松、札幌での勤務経験の後、2003年有限会社フォーオール（蜂蜜と自然食品販売）を設立。札幌と夕張を往復し、夕張活性化のための勉強会企画、商品開発、情報発信に奔走中。また、2007年12月日経BP社から『夕張への手紙』を出版され、さらに、最近では『なにくそ不景気』を新たに出版。講演活動を活発にされるなど幅広い分野で活躍。

15:30 ■事例発表『女性起業家として』

北部菜園グループ代表 伊藤洋子さん

15:50 ■男女共同参画都市宣言文 朗読

【問合せ】 男女共同参画センター ☎40105 FAX40133

『これからの教育を考える市民の集い』を開催

加西市教育委員会では、特色ある学校づくり、学校統合、施設の耐震化、幼稚園・保育所の一元化・民営化など、加西市の教育環境を取り巻く課題について、市民の皆様と一緒に考える集いを開催いたします。

次代を担う子どもたちに「どんな教育や教育環境が必要となるのか」をテーマに、皆様と議論を重ねて参りたいと考えております。保護者や子育て世代や小中学生の皆様には、ぜひ、ご参加いただきますようお願いいたします。

日時：11月1日（土） ※いずれも説明内容は同じです。

1回目 9:30～11:30

2回目 15:00～17:00

3回目 19:00～21:00

11月5日（水）19:00～21:00

会場：加西市健康福祉会館 大会議室

※11/1の3回目のみ研修室1・2

参加方法：事前申込不要。会場にお越しください。

※各校区には、11月中旬以降開催予定のタウンミーティングにおいて説明します。

【問合せ】 教育総務課 ☎48770 FAX481803